

令和2年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

中村 泰輔 議員

◇新型コロナウイルス感染症による休校措置時のオンライン授業への姿勢

(1) 第2波到来時の小・中学校におけるオンライン授業実現への県の意志とオンライン授業対応の判断を支援する市町統一のガイドライン策定について伺いたい。

(教育長答弁)

第2波が到来した場合、小中学校においては、前回の経験を生かし、まずは、学習プリントを用いた課題や分散登校等により対応していくものと考えております。このような取組にオンライン授業を組み合わせることで、生活状況の把握や家庭学習の支援等をさらに充実させることができるものと考えており、可能な取組から着手する必要があると捉えております。

県による市町統一のガイドラインの策定について御提案いただきましたが、現時点におけるオンライン授業の実施に当たっては、各市町における感染者の発生状況、家庭や地域のネットワーク環境、さらには学校の状況等、様々な要因をきめ細かに勘案することが必要であると考えております。そのため、オンライン授業の進め方については、学校に身近な各市町教育委員会が判断することが望ましく、県としての統一したガイドラインを策定することは難しいものと考えております。

県教育委員会といたしましては、各市町が適切に判断し、実施可能な取組に着手していくことができるよう、県内外における先進事例や実施方法等を積極的に情報提供し、市町の取組を支援してまいります。

なお、御提案いただいたガイドラインを含めたオンライン教育の推進につきましては、今後設置を予定しております市町教育委員会、学識経験者等を入れた協議会の中でも検討してまいりたいと考えております。

(2) 県立高校休校時のオンライン授業による授業推進について伺いたい。

(教育長答弁)

県立高校において、再度、臨時休業を行う場合は、まず分散登校など可能な限り登校日を設定して教員から生徒への対面での授業を行うことを考えております。さらに、生徒が登校しなくても授業内容の一部を進められるように、家庭でインターネットを利用して、教員等から配信された学習動画を視聴したり、テレビ会議システム等を用いて質問したりすることができるよう、学校の実態に応じた準備を進めているところです。現在、「Teams」という会議ソフトのIDとパスワードを全県立学校の全教員、全生徒に配布したところがあります。なお、インターネットの環境に制限がある家庭が14.8%あることから、その

ような家庭の生徒に対しては、動画を DVD で送付したり、登校させて学校のパソコンで学習させるなどの対応も考えられます。

今後、学校が休業となっても、学習の遅れを極力生じさせないよう、現状の環境の中で可能な対策を進めてまいります。